

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 月 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 17 日 作成

事務事業名		拾八町笹原線道路整備事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連									
総合計画体系	政策	1	人々が、安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名	上原 哲也						
	施策	5	道路ネットワークの充実			所属課	建設課	担当者名	上田 伸介						
	基本事業	13	計画的な道路の整備			所属班	工務班	(内線)	2278						
予算科目	会計	1	款	8	項	2	目	3	事業連番	11262	法令根拠	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 15 ~ 23 年度)											

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	大摩原線からすずかけ4号線を結ぶ本路線は笹原団地内を横断する生活道路であるが、幅員が狭く歩行者の安全な通行に支障をきたしているため、道路の拡幅を行い歩道を設け歩行者・車両の安全を確保する。 地元要望等により必要性の検討の結果、平成15年度から事業開始となった。 事業開始時期、周辺は既存の住宅が点在していたが、住宅開発が進み交通量も増加しており、今後は交通量に応じた幅員構成及び歩道の設置によりスムーズな通行が出来る整備が必要とされる。
【業務の流れ】	平成15年 測量設計業務委託(4,179千円) 補償物件鑑定業務委託(945千円) 平成19年以降 用地交渉、登記事務、改良工事、道路管理
【主な予算費目】	公有財産購入費 補償費 工事費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	周辺住宅は、子育て世代が開発により多く移り住んで来ており通学路としての期待が大きい。そのため歩道整備の要望が多く寄せられている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)

用地交渉・立会・契約・登記

④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) (単位)

⇒ ア 道路改良工事 m イ

② 対象(誰、何を対象にしているのか) \*人や自然資源等 ⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)

拾八町笹原線道路 ⇒ ア 全延長 m イ

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)

道路改良が出来て安全快適に移動できる。 ⇒ ア 整備率 % イ

\*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	m	0	0	0	0	0	0	
	イ								
⑤ 対象指標	ア	m	340	340	340	340	340	340	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	%	0	40	60	40	80	100	
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円	3,600	800	5,700	0	19,000	19,000
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	220	52	300	0	1,000	1,000
	(A) 事業費計	千円	3,820	852	6,000	0	20,000	20,000	0
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人 件 費	正規職員従事人数	人	3	5	3	5	3	3	
	延べ業務時間	時間	192	290	192	161	192	600	
	(B)人件費計	千円	762	1,160	764	641	764	2,388	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,582	2,012	6,764	641	20,764	22,388	0

総トータルコスト 全体計画	15 ~ 23 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)		44,300
		2,372
		46,672
		17
		1,466
		5,835
		52,507

合志市

事務事業名	拾八町笹原線道路整備事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ 成案は事業が完成しないと発揮できない。この市道は、南部の巾街化区域と北部の調整区域を隔てる道路である。南部沿線については既存住宅が張り付いているので幅員は困難であるが北部沿線は、今年度から開発行為が盛んに行われているため、開発道路を確保するために敷地後退を行っている。	
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷ 市道整備においては、庁舎内でも建設課のみ施工しており類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 用地買収及び工事積算においても、リサイクル法等の適用によりコスト削減に努め経済比較を行いながら単価等の決定を行っているので余地はない。	
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 本事業を完成させるためには、用地買収等の重要な事業が残っている。また、用地を取得するためには防衛省との重要な協議が残っており、正職員以外の職員は担当できない。	
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 地域はもとより市民の通行利用もあることから、公正であると判断できる。	
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷	

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

### (3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

民間の開発速度に大きく影響される事業である。現行では虫食い状態で開発が進んでおり連続的な地形での用地の確保が出来ていないので今後民間の開発と十分な協議を重ねる必要がある。